



都築 重信 議員
(済々会)

豪雨災害対策

排水機場・除塵機の更新

問 ハザードマップによる危険地域での建築。

答 諸条件はあるが、関係法令を遵守すれば可能。

問 雨により崩れやすい地質の真砂土の地層は本町にあるか。

答 地質調査データがないので答えられない。

問 海拔の低いところ。

答 大字横松字前田地内、海拔0・1m。

問 海拔の高いところ。

答 大字植大字陶ヶ峰地内、海拔74・7m。

問 昭和40年以降、甚大な被害をもたらした雨量。

答 平成12年9月の東海豪雨が1番で613・5ミリ、昭和51年9月の370・5ミリ。

問 英比川・前田川除塵機の改修計画。

答 英比川除塵機は、今年度工事。

前田川除塵機は、来年度工事予定。

問 横松地区の阿久比排水機場はいつできたか。

答 昭和49年の集中豪雨を機に計画、昭和55年に完成した。

問 排水機場計画。

答 植大排水機場は、本年度に工事着手し、平成35年度完成予定。

英比排水機場は平成32年度に工事着手し、平成36年度完成予定。

現在の阿久比排水機場は、解体撤去される。

問 新排水機場の能力。

答 植大排水機場は、毎秒4・50m³。

英比排水機場は、毎秒3・23m³の能力。

問 植大排水機場の施設面積。

答 3654m²。

問 阿久比排水機場との比較。

答 植大排水機場は、毎秒1・00m³増強され、1・3倍。

英比排水機場は、毎秒0・28m³増強され約1・1倍となる。

問 除塵機と排水機場が完成後、東海豪雨程度の雨量でも安全か。

答 新排水機場及び新除塵機は、共に老朽化により更新するもので、河川の排水能力は変わらないので、予測できかねる。

問 総事業費。

答 共に愛知県が事業主体で実施。

排水機場は、事業費約19億9千万円。

除塵機は、矢勝川、英比川の2基分で、事業費約2億5千万円。

東部知多クリーンセンターとごみ減量

3Rの推進

問 センターの稼働日。

答 平成31年4月1日の正式稼働に向け順調。

問 最大処理量。

答 1日最大2000トン。

問 建設費・補助金・起債。

答 事業費約173億5千5百万円。国庫補助金約53億5600万円。起債約102億7千650万円。

問 本町の1人当たりの排出量。

答 平成24年度586g、25年度580g、26年度568g、27年度567g、28年度556g。

問 本町の負担割合。

答 負担分約14億4千590万円。負担割合約12%。

問 ごみ減量化施策。

答 ①廃プラごみ袋の値下げ。②生ごみ堆肥化装置購入費補助。③3Rの推進。④水切り紙袋の配布。⑤刈草、剪定枝の堆肥化事業。⑥ごみ減量出前講座を考えている。